

(芸術)科(美術)シラバス		2 単位	普通科 第3学年	A群選択者
年間の到達目標	<p>1. 美術の基礎を学び、さまざまな観点から豊かな創造活動を展開させます。</p> <p>2. 自己表現を目標とし、自分のよさを発見し、美を感じ取る感性を高め、表現する楽しさや完成の喜びを味わいます。</p> <p>3. 表現及び鑑賞における幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てます。</p>			
教科書・副教材等	美術1 (光村図書出版)			
学期	月	学習内容	学習のねらい	
1	4	1. オリエンテーション (1) 美術1について (2) 授業についての心構え	美術1で何を学ぶか。教科書や資料を使い、美術の学習内容に関心を持たせ、目的意識を明確にし、学習の意義や内容、評価について理解します。	
	5	2. ものの見方と表現方法について (1) 鉛筆及び色鉛筆による静物デッサン (2) アクリルガッシュによる色彩練習	基本的な形の捉え方や、明暗や色彩による立体の表現方法を理解し、身近な画材によるさまざまな表現方法を理解します。教科書やビデオの鑑賞を通し、基本的なプロセスを学びます。	
	中間考査範囲			
	6	3. 自画像	見慣れた自分自身の顔をよく観察し、特徴を捉えながらいきいきとした表情をデッサンし、着彩します。	
	7	4. 1学期のまとめ	1学期の授業の内容を振り返り、表現を工夫した点や授業態度の反省をレポートにまとめ提出します。	
	期末考査範囲			
	<p>〔備考〕</p> <p>【第1学期の評価方法】</p> <p>普段の授業に対する取り組みや態度と提出された作品及びレポートなどを見て、総合的に評価します。学期全体の評価は概ね、平常点(授業態度、遅刻、欠席、忘れ物等)30%、作品及びレポート70%の配分で行います。</p>			
2	9	1. デザインの基礎 (1) 色彩と造形要素 (2) 色彩演習	色彩の基礎理論を教科書やプリントを活用し、造形要素の基本事項について学びます。また、用具の扱い方や着彩の留意点について説明をし、色彩演習をとおして、色の三属性・色相対比・補色等の性質を学びます。	
	10	2. 顔写真をモチーフとしたイラストレーション (1) パネル水張り (2) トレース及び明暗の分割	色彩の基礎理論を応用し、配色基本法則のプリントや配色カードを活用し、色彩計画のポイントと手順を踏まえながら、イメージによる計画を立てます。	
	中間考査範囲			
	11	(3) 配色計画 (4) 着彩	全体のイメージができたら、明度の高い色彩から順に、配色カードを参考にしながら、絵の具の濃度に注意し着彩を進め、作品を完成させます。	
	12	2. 2学期のまとめ	2学期の授業の内容を振り返り、表現を工夫した点や授業態度の反省をレポートにまとめ提出します。	
期末考査範囲				
<p>〔備考〕</p> <p>【第2学期の評価方法】</p> <p>普段の授業に対する取り組みや態度と提出された作品及びレポートなどを見て、総合的に評価します。学期全体の評価は概ね、平常点(授業態度、遅刻、欠席、忘れ物等)30%、作品及びレポート70%の配分で行います。</p>				
3	1	1. ボックスアート My favorite box	コラージュの技法や透視図法を応用し、さまざまな材料・形状の素材を用いて、奥行きを利用した、立体感の有る作品を制作します。身近にある素材の美しさに気づき、再構成するなかで、表現材料の効果的な生かし方を学びます。	
	2		ボックスアートの制作計画のプリントを活用し、各自で準備をし、制作を進め、進捗の確認ができるようにします。	
	3	2. 3学期のまとめ	3学期の授業の内容を振り返り、表現を工夫した点や授業態度の反省をレポートにまとめ提出します。	
学年末考査範囲				
<p>〔備考〕</p> <p>【第3学期の評価方法】</p> <p>普段の授業に対する取り組みや態度と提出された作品及びレポートなどを見て、総合的に評価します。学期全体の評価は概ね、平常点(授業態度、遅刻、欠席、忘れ物等)30%、作品及びレポート70%の配分で行います。</p> <p>【年間の評価方法】</p> <p>下記の4つの観点から評価した第1学期の成績、第2学期の成績及び第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とします。</p>				
評価の観点	内 容		評 価 方 法	
関心・意欲・態度	美術に関心を寄せ、意欲的、主体的な態度で学習活動に取り組むことができるか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加態度</li> <li>・提出作品</li> </ul>	
芸術的な感受や表現の工夫	感性を働かせて、美術の良さや美しさを感じ取り、創意工夫をしているか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・提出作品</li> <li>・提出プリント</li> </ul>	
創造的な表現の技能	材料や用具を適切及び効果的に扱い、創造的な表現をするために、必要な技能を身につけているか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の取り組み</li> <li>・提出作品</li> </ul>	
鑑賞の能力	美術作品を様々な観点から理解し、その良さや美しさを楽しむことができるか。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の態度</li> <li>・提出プリント</li> </ul>	
<p>〔担当者からのメッセージ〕</p> <p>人間にとって、表現や創造をすることはとても大切なことです。美術の授業や作品制作を通して、豊かな発想力を育み、表現することの喜びや大切さを感じて欲しいと思います。</p> <p>また、よい作品は、意欲的、主体的な態度から生まれるものです。授業への遅刻や忘れ物の無いようにするとともに、授業に積極的に参加して下さい。提出物は期限を厳守して下さい。</p>				